

みやけの風

第 193 号

平成16年(2004年)10月9日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター 気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

週前半に雨が続きめっきり涼しくなりましたが、風邪をひいたりしていませんか。秋盛りにはまだ間がありますが、今年の台風は一体どうしたことかと思うほどの上陸回数です。特に関西の、今まであまり台風や雨の被害のなかったところが次々と襲われています。高齢者が多いであろう、山間の町や村での災害や避難勧告のニュースを見るたびに、住民や役場の方々のたいへんさを思わずにはられません。

みんなの声

ありがとうの集会に

明日10/3(日)、島民ふれあい集会実行委員会に出席する予定でしたが、体調が気になり、参加できません。それで、私の考えていることを、FAXにのせてお知らせいたします。

4年におよぶ長期避難生活の上に、散り散りに暮らす私たちは、お互いに顔を合わせておしゃべりする機会がほとんどありません。

このふれあい集会を開催するにあたっては、東京都、村役場、社協、多くのボランティア、また、協賛団体、港区などがあって成り立っていることと、常日頃から感謝していました。前回はさいごと思っていましたら、来年2月の避難指示解除に向けてもう一度開催しましょうとの声があって、話し合いがもたれていると伺って、ほんにこの世は情けがいっぱいあるねえ、ほろりしましたよ。

来春帰島する人、できない人もいます

よう。けれど、みやけはひとつ。

私たちが大都会でなんとかがんばれてきたのは、多くの皆さんに支えられつつ、また、三宅島島民ふれあい集会で、見た顔、知った顔に出会う喜びを作ってくくださったから。

このことに対して、感謝の気持ちを表すありがとうの集会にしたいですねえ。

物やお金はないけれど、みやけの象徴は、思いやりと情けに充ちた島人の心にあります。『島節』に込めて、おはやしのところであらう ありがとう、とはやすのもよし、うちわに書いてもいいよね！

鈴木則子さんは、「島のお年よりはみんなが即興詩人よ」と話していました。校庭に輪になって、手をつないで『ありがとう音頭』と銘打つことも何かできますよねえ。グッドアイデアでしょ。どうぞ知恵をだしあって、朗らかな集いにしませんか？

(障害に負けない女)(台東区 阿古 佐々木美代子)

第9回三宅島島民ふれあい集会 島民実行委員会のご報告

10月3日日曜日午後1時半より、飯田橋セントラルプラザ12階会議室にて、『第9回三宅島島民ふれあい集会』の『島民実行委員会』が行われました。出席者は、ちょうど各地のお祭りなどと重なったこともあって16名と少なめでしたが、おかげさまで、活発な意見交換ができました。そこで出されたご意見を少しご紹介いたします。

この時期、暗くなるのが早いので、終わりを少し繰り上げたほうがよいのでは。高齢の方には外にいる時間が長いのは負担になることも配慮して。

すぐに帰島できないで残る人たちと、今後を支えてくれる人たちとの直接の交流ができる工夫ができれば。

島民がただ、お客さんにならないように、あげる人・もらう人の関係を一方的にしない工夫を！ たとえば、いっしょに何か共同作業をするなかで、気持ちが通じ合うこともあるかも。企業や団体の屋台に島民がまじって手伝うとか・・・ いままで以上に島民ボラをつのろう。入り口にアーチなどを作り、『ふれあい集会によろこそ！』そして『ありがとう！』など、島民からのメッセージを伝えることをしたら？また、大漁旗などで、三宅島らしさをアピール！

小学校には、全国から寄せられた千羽鶴がたくさんある。会場に飾りつけたらどうか？

村役場では相談窓口を開設。帰島について、避難生活について、より具体的な相談を受け付け。

10月の介護者教室のご案内

10月は、都内5ヶ所の高齢者支援センターにて開催いたします。

テーマ 介護予防「ぴんぴんころり」のために

9月は支援センターのない地区7ヶ所で、介護を受けずに「ぴんぴんころり」の実現に向け、ちょっと楽し・恥ずかしの「試み」をいたしました。(なかなかおもしろかったよ、と参加して下さった方々の感想をいただいております。)10月は同じ「試み」を、都内5ヶ所の高齢者支援センターにて行います。今までにない体験をして、こころと、からだを、ゆさぶってみませんか?

日 程	会 場	時 間
10/25(月)	武蔵村山支援センター	13:30~15:00
10/26(火)	東久留米支援センター	13:30~15:00
10/27(水)	南大沢支援センター	13:30~15:00
10/28(木)	桐ヶ丘支援センター	13:30~15:00
10/29(金)	小松川支援センター	13:30~15:00

たくさんの方の参加を、お待ちしております。

お問合せ：三宅村在宅介護支援センター相談員 北村淑子 TEL・FAX：03-3459-8389

耳
情
よ
り
報

JHP学校をつくる会チャリティーイベント2004
～カンボジアに建てた学校115!～

へ無料ご招待

みやけの風192号でお知らせしたとおり、JHP・学校をつくる会では、恒例のチャリティーイベントに三宅島の方々10組20名様をご招待します。

今回は、武田鉄也さん、上戸彩さん、上條恒彦さん、海援隊のみなさん、『3年B組金八先生』パート7生徒のみなさんに駆けつけていただき、舞台版『3年B組金八先生』と歌とトークの楽しいコンサートを繰り広げます。あわせて、桜中学卒業生による恒例のソーラン節、江東区立第七砂町小学校金管バンドクラブによるマーチングバンドなどで、お楽しみください。

三宅島の皆さまには、長い避難生活でご苦労されていることと思います。各地に避難しているご家族の皆さまをご招待し、心から声援を送らせていただきます。

参加ご希望の方は、下記の要領でお申し込みください。チケットをお送りいたします。(前回、はがきの宛て先が掲載されていませんでした。大変失礼いたしました)

日 時：平成16年11月24日(水)17:30開場 18:00開演 21:00終演

15:00より会場ロビーにてチャリティーバザーを行います。

芸能人ご提供による、衣類・バッグ・雑貨・食品・小物など盛りだくさん

会 場：メルパルクホール(東京郵便貯金ホール)

(JR/モノレール浜松町下車徒歩8分・地下鉄都営三田線芝公園下車徒歩2分)

申 込：官製はがきに「JHPチャリティーイベントチケット希望」と

氏名(ふりがな) 現住所(チケット送付先) 電話番号 をご記入のうえ、お申し込みください。抽選で10組20名様にチケットをお送りいたします。

(官製はがき一枚で、2名様まで申し込みいただけます)

宛て先：〒106-0032 港区六本木4-7-14

お問合せ：JHP学校をつくる会事務局 担当：伊藤

TEL：03-5414-1774(平日、月～金、10:00～18:30)

※ 切：2004年10月31日(日)必着

「みやけの風」へのご意見・ご要望を、三宅島支援東京センターまでお聞かせください。